

特集 自然にやさしいレジャーをしよう

猪苗代湖に恩返し



青松浜から一望できる猪苗代湖と磐梯山

猪苗代湖の今、知っていますか？



磐梯朝日国立公園の一部であり、日本で4番目に大きい湖、猪苗代湖。天を映す鏡のような水面から「天鏡湖」とも呼ばれ、今から21年前の2002年度から4年間は、水質日本一の湖でした。
本市にとって猪苗代湖は、明治時代の安積疏水事業によって、水が悪かった郡山に豊かな水をもたらしてくれた大切な存在です。四季折々に美しく広がる景観はもちろん、日本でも有数の湖水浴などができる湖として、周辺住民だけでなく観光客からも愛され、毎年多くの人が集まります。
しかし、そんな猪苗代湖の水質が、年々変化していることを知っていますか？水質汚濁が進めば、今までのように湖で遊べなくなるかもしれません。現在、この問題に対して、さまざまな団体や人が取り組みを進めています。
猪苗代湖がこれからも日本のオアシスであり続けるために、私たち一人ひとりにできることは何でしょうか？そのヒントを得るために、保全活動に取り組む方々に思いを伺いました。



日本大学名誉教授、NPO法人「猪苗代湖をつくる」の理事長 中村 明弘 氏

私たちの行動も湖に影響している

猪苗代湖の水質が変化してきた原因にはさまざまなことが考えられますが、私たちの行動も関係がないとは言えません。
猪苗代湖は元々、湖に流入する河川などが強酸性だったため、水質も自然に浄化されてきました。しかし、今では流入する酸化物質の減少で中性化が進み、水生植物のヒシやヨシなどが大量繁殖し、枯れて水中で腐敗や溶解などをした結果、濁りが増えてきました。水生植物は私たちの生活排水でも成長します。調理くずや食べ残



実験で出た水質の変化に子どもたちは興味津々！

し、生活排水を流すといった私たちの行動が、猪苗代湖を汚してしまうことを一人でも多くの人が知ってほしいです。

猪苗代湖を日本一の湖にしたい

私は毎年秋に、多くの団体やボランティアの人たちと協力し、枯れる前の水草を回収するクリーン活動をしています。一方で、夏には湖南小・中学校の子どもたちに水質調査の実験やフィールドワークを通し、猪苗代湖の今を伝えることにも取り組んでいます。
透き通った水に魅了された出会いから時が経ち、気付けば今ではその水を守る立場に。いつか猪苗代湖が、景観の素晴らしさや多様な生物が育つ環境などから、水質だけでなく、総合的な「日本一の湖」と呼ばれるよう、その魅力を次世代につないでいきたいですね。



水と緑を守る舟津川愛護会 会長 吉井 孝征 氏

工夫しながら魅力を伝える

舟津川河川敷の草刈りや湖畔の清掃などに20年以上取り組んでいる吉井さん。地元から見た猪苗代湖への思いなどを伺いました。
なんととっても訪れた人が湖を見て、きれいだなと感じてもらえると、頑張って清掃してきた甲斐もありますし、今後の活動にも力が入りますね。
反対に、毎年レジャーで使ったごみを片付けないで帰る人もいるので困っています。中には道中の草むらに隠してごみを捨てていく人もいますよ。
そこで昨年の秋には新たな取り組みにも挑戦しようと、舟津川の河川敷で、ゼロ・ウェイスト（ごみをゼロに）をコンセプトとした

愛する場所だから率先して守っていききたい

これからも生まれ育ったふるさとがたくさんの人に愛されるように、活動を続けていきます。地元環境を良くするためには、「まず自分が率先してやってみる」とが大事ですね。それを見て協力してくれる人が一人でも増えてくれたら、とてもうれしいです。



毎年さまざまな湖岸清掃活動に参加しています。



足元を見れば

気付くことがある

上下水道局では5月27日に、一斉ごみ拾い活動である水源地清掃プロジェクトを開催。湖南町館浜を中心にボランティア参加者が湖岸を散策すると、プラスチック製品や炭化した木片などが大量に発見され、一時間でおよそ20kgのごみが集まりました。



段ボールや瓶・缶など、レジャーなどで出たと思われるごみが大量に集まりました。

湖岸の清掃活動は、企業や団体個人でも数多く行われ、現地でイベントに参加したことがきっかけで、ごみ問題を意識する人がだんだん増えていきます。参加者の中には、「きれいな景色を楽しめる場所だからこそ、足元もきれいにしたい」と話していた方もいました。

参加者の声



集まったごみの量に親子でびっくり！これからは、遊びに来た時よりもきれいにしてから帰るように心がけています。

柳沼千枝美さん 咲さん 寧々さん

まだまだ使えそうなバーベキューの焼き網なども捨ててあり、友人たちと驚きました。遊んだときはごみを落としていないか、確認を忘れないようにします。



小沼千紘さん 鈴木萌さん 小島楓さん 椎根麻友さん

マナーを守れば、湖をきれいにできる



(参考) 国立公園 利用上のマナー

湖畔のマナー できていますか？

- **ごみは捨てずに持ち帰る**
現地でごみは全員で回収する。生ごみは事前に食材をカットして持ち込むなど、現地でごみが発生しない工夫をする。
- **直火をしない**
焚き火をするときは、難燃シートに焚き火台を乗せ、その上で行う。炭は自然分解されないため、必ず持ち帰る。
- **汚れを湖に流さない**
汚れたものを湖でゆすぐ、洗剤や料理に使ったお湯を湖に流す行為は水質悪化の原因。炊事場以外では流さない。



**レジャーに欠かせないもの
それは、湖への思いやり**

湖畔を訪れる人たちは、「ここは海とは違ってベタつかないから昔からよく遊んでいたよ」どの季節でも波が穏やかだから、リラックスしたいときはよく来るんだよね」など、思い思いのエピソードを話してくれました。夏といえば猪苗代湖。そんな風に、猪苗代湖が地域にとつての拠り所となっていることを感じます。

これからの夏、湖水浴やキャンプなど、さまざまなレジャーで楽しく過ごしたい人は多いはず。しかし、きれいな湖は当たり前ではなく、たくさんの方々の活動によって維持されています。水質が悪化すれば、いつかは湖で遊べなくなる日が来てしまうかも…。

猪苗代湖がいつまでも愛される場所であるためには、私たち一人ひとりが思いやりを忘れないことが必要です。レジャーを行う際は、マナーを守る。たったそれだけのことが、今まで恩恵を与えてきてくれた猪苗代湖に対して、私たちにできる恩返しになります。そしてその行動は、未来の人々へ豊かな恵みをつなげる、恩送りになるのではないのでしょうか。

湖南を代表する夏イベント！

第56回湖まつり



猪苗代湖の広大さを感じながら、各種イベントや打ち上げ花火などを楽しめる毎年恒例のお祭りです。今年の夏は、ご家族や友人など楽しい思い出を作りませんか？

時 7/22(土)10:00~20:00 ※雨天決行、荒天中止

場 湖南町館浜

内 トライボ体験、湖上花火大会(19:00~舟津公園で開催)など

問 湖まつり実行委員会 ☎983-2117



夜はパルーンランタンや花火で幻想的な雰囲気に

一緒にごみを拾いませんか？

猪苗代湖の水を守りたいツアー



私たちの飲み水にもなる猪苗代湖を守るため、湖岸清掃に協力してくれる方を募集します。

時 8/26(土)10:00~11:00 ※小雨決行、雨天中止

コース 湖南町館浜湖岸集合→猪苗代湖岸(館浜・舟津浜)清掃→現地解散。 ※集合場所までの交通費などは各自でご負担ください。

対 市内在住・在勤・在学の方

定 100人 ※応募多数の場合は抽選、学校単位での申し込みは別途ご相談ください。

持雨具、湖岸清掃に適した服装
※清掃用具は上下水道局総務課で準備します。

問・申 8/8(火)＜必着＞までに、参加者全員の郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、〒963-8016 豊田町1-4 上下水道局総務課 ☎932-7643へはがきで郵送、電話、☎939-5807、✉jougesuisoumu@city.koriyama.lg.jp、市ウェブサイトのいずれかで。

親子で流す爽やかな汗！

